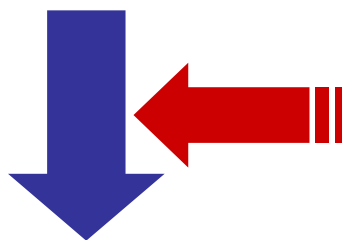


これまでの対策

一定規模の洪水を河道内で安全に流下させる(氾濫する頻度を減らす)



近年顕在化している課題

河川整備の限界(気候変動, 超過洪水)
危機管理の限界(情報氾濫, 経験不足)
地域コミュニティの脆弱化
(水防組織の衰弱, 少子高齢化)
水害意識の低下(無関心, 行政依存)

これからの対策

(水害に対する危機管理)

【治水対策の目的】

人々の命を守る **最優先**

床上浸水のような壊滅的な被害を防ぐ

これまでの治水対策に加え、自助・共助・公助を組み合わせ、ハード対策とソフト対策を連携し、対策を進める。

29

3. 審議していただきたいテーマ

30

地域防災力の再生

水位・雨量情報伝達



アクセス用
QRコード

水害体験の聞き取り・伝承

子供の頃にはこの
地域でも大きな水
害があったが...

地域の水害
について教
えてください。



水防訓練



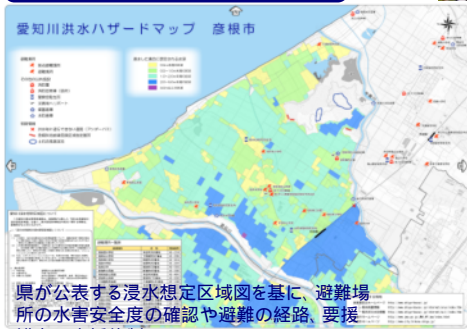
水害学習会

水害ってあん
がみじかな
地域の問題な
んだね。

地域の川の水
害の歴史につ
いて調べてみま
した。



洪水ハザードマップ



避難訓練

みんなで はやめ
に避難所へ



新たな公助の展開 ~氾濫原管理~

家の敷地を高くしたり、
周りを囲んだり、
すまい方の工夫。

土地利用誘導

輪中堤
嵩上げ

霞堤
二線堤

水害
防備林

道路を少し高くするなど、
あふれた水が住宅地に流れ
込まないようにする工夫。

水がたまりやすい場所に、
危険を知らないままで人が
住まないようにする工夫。

川からあふれ出す
流れを弱める工夫。

(将来にわたり)
壊滅的な被害
の恐れがある範囲

市街化が
進行

確実な避難行動を確保
(できれば) 氾濫流を制御・誘導

市街化が
未進行

市街化を回避、または、
(市街化しても) 住まい方を工夫